

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード:140003

成人・老年看護方法論演習 I Practice: Adult and Gerontological Nursing I

担当教員	大西 陽子、臺 美佐子、紺家 千津子、峰松 健夫、松本 勝、額 奈々、松本 智里、今方 裕子、瀧澤 理穂、北村 言、中道 淳子、大橋 史弥、近藤 孝朗、幅 大二郎				
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。				
開講年次	3年次前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	成人期、老年期、周術期看護、日常生活への影響とアセスメント、情報の統合と看護問題の抽出、看護計画立案・実施・評価、看護サマリー				
学習目的・目標	<p>目的 積極的な治療を受ける成人期・老年期における対象者の生命維持・回復に必要な知識を修得する。また、看護問題の解決に必要な思考力(判断能力、応用能力、問題解決能力)を養い、基本的・実践的な援助方法を修得する。</p> <p>目標 1. 退院後も含めた周手術期や、侵襲的な検査や処置を受ける事例を通してアセスメントし、看護問題を抽出できる。 2. 看護計画を立案し、具体的な援助技術・方法を実践し修得できる。 3. 対象者への援助を提供する際に必要となる倫理的判断に対して、看護の立場から自分の考えを整理できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	<p>◆ガイダンス…本授業の進め方、評価について</p> <p>【講義およびグループワーク】胃がんで手術を受ける患者の看護(術後看護)</p> <p>①術後患者の全体像の理解 ②術後アセスメント</p>				大西、臺、紺家、松本勝、額
3-4	③情報の統合…関連図および判断結果				大西、臺、紺家、松本勝、額
5-6	<p>④看護計画の立案 ⑤早期離床の援助 ⑥退院を見据えた援助:看護サマリーの記載</p> <p>【演習1】術前看護:呼吸訓練</p>				大西、臺、紺家、松本勝、額
7-8	<p>【演習2】術前看護:深部静脈血栓症(Deep Venous Thrombosis:DVT)予防の援助 【演習3】術後看護:術後患者受け入れ準備—術後ベッド作成</p>				額、大西、臺、紺家、松本勝
9-10	【演習4】術後看護:術後1病日の観察				大西、臺、紺家、松本勝、額、松本智、今方、瀧澤
11-12	【演習5】周術期における排泄援助技術:ストーマサイトマーキングおよびストーマ管理				紺家、大西、臺、松本勝、額、松本智、今方、瀧澤
13-14	<p>【演習6】術後看護:早期離床の援助 【実技試験】術後1病日の観察</p>				大西、幅、臺、紺家、松本勝、額、松本智、今方、瀧澤、峰松
15	【演習7】周術期に用いられるME機器の管理:胸腔ドレーン、脳室ドレーン、人工呼吸器				大西、臺、紺家、松本勝、額
教科書	系統看護学講座・別巻 臨床外科看護総論、臨床外科看護各論 医学書院				
参考図書等	<p>疾病・障害論で使用した教科書及びテキスト 成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅱ・Ⅲで使用した教科書及び資料 看護学テキストNiCE 老年看護学概論、老年看護学技術、南江堂 看護学大辞典第6版(電子版)メジカルフレンド社(図書館 e-book利用可)</p>				
評価指標	レポート課題45%、筆記試験40%、実技試験15%(授業・グループワークへの参加姿勢、課題のレポート、筆記試験等の評価点により、総合的に評価する)。				
関連科目	成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ～Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅱ・Ⅲ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学/演習、代謝と栄養、疾病・障害論Ⅰ～ⅡC、フィジカルアセスメント、薬理学など				
教員から学生へのメッセージ	対象者は積極的な治療を受けることにストレスを感じ、不安や恐怖を抱くことが推測されます。このような対象者の生命維持・回復して家庭・社会復帰するためには、身体のみならず総合的な視点からのアセスメントと援助が必要です。侵襲とその回復に伴い変化する対象者の身体とニーズを理解しながら、積極的に演習に臨みましょう。				